

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
家庭	家庭基礎	2	必履修	R6・1	全HR
使用教科書	Survive!! 高等学校 家庭基礎 (教育図書)				
副教材	Survive!! 高等学校 家庭基礎 準拠ノート(教育図書) 最新生活ハンドブック資料&成分表(第一学習社) 新おとなドリル 食べ物ドリル				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするために、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

## 2. 学習方法

- ①教科書に沿って進めていきます。教科書準拠の学習ノートは予習・復習にも活用し、授業をよく聞き自分ならではの工夫しながら記入しましょう。学期末・学年末考査時に、学習ノートを提出してください。
- ②実生活で実践できるよう、生活とのかかわりを持たせて進めていきます。学習ノートや資料集、別紙プリントを活用し、実習を行います
- ③実習は単元ごとに行います。実習中の取り組み状況、実習プリント、作品等の総合評価をします。提出を確実にしていくようにしましょう。
- ④授業を生かした地域・家庭での実践活動として、夏休み中にホームプロジェクトを実施します。自分で課題を見つけ実践・まとめ・発表をします。

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○学校家庭クラブ活動 ○自分を見つめる ○人生を見つめる。	学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	自己の家庭生活と関連付け生活上の問題を見だし課題を設定し実践、評価改善している。	課題の解決に主体的に取り組み改善し、自分や家庭生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	5 月	【第1章消費生活・環境】 ①成年年齢の引き下げ ②契約と消費者トラブル ③消費者の権利と責任 ④消費者の意思決定 ⑤生活費と家計 ⑥将来の経済計画 ⑦これからの消費生活	家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解しているとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

1 学期	6 月	<p>【第2章衣生活】</p> <p>⑧人と衣服</p> <p>⑨衣服計画・衣服の表示</p> <p>⑩衣服の成り立ち, 衣服素材の性能と着心地</p> <p>⑪衣服の構成</p> <p>⑫衣服の手入れ・管理</p> <p>⑬これからの衣生活</p> <p>○被服実習</p>	<p>ライフステージや目的に応じた被服の機能と 着装について理解しているとともに, 健康で快適な衣生活に必要な情報の 収集・整理ができる。 被服材料, 被服構成及び 被服衛生について理解しているとともに, 被服の 計画・管理に必要な技能 を身に付けている。</p>	<p>被服の機能性や快適性について問題を見いだして 課題を設定し, 解決策を 構想し, 実践を評価・改 善し, 考察したことを根 拠に基づいて論理的に表 現するなどして課題を解 決する力を身に付けてい る。</p>	<p>様々な人々と協働し, よ りよい社会の構築に向け て, 衣生活と健康につい て, 課題の解決に主体的 に取り組んだり, 振り返 って改善したりして, 地 域社会に参画しようとす るとともに自分や家庭, 地域の生活の充実向上を 図るために実践しようと している。</p>
	7 月				
夏 季	8 月	<p>ホームプロジェクト活 動</p>	<p>ホームプロジェクト の意義と実施方法につい て理解している。</p>	<p>自己の家庭生活や地域の 生活と関連付けて生活上 の問題を見いだして課題 を設定し, 解決策を構想 し, 実践を評価・改善し, 考察したことを根拠に基 づいて論理的に表現する などして課題を解決する 力を身に付けている。</p>	<p>様々な人々と協働し, よ りよい社会の構築に向け て, ホームプロジェクト と学校家庭クラブ活動に ついて, 課題の解決に主 体的に取り組んだり, 振 り返って改善したりして, 地域社会に参画しようと するとともに, 生活 文化を継承し, 自分や家 庭, 地域の生活の充実向 上を図るために実践しよ うとしている。</p>
	9 月	<p>【第3章食生活】</p> <p>⑭人と食生活</p> <p>⑮食品と栄養素</p> <p>⑯食品の選択・保存, 安全な取り扱い</p> <p>⑰献立作成</p> <p>⑱調理の基礎</p> <p>○調理実習</p>	<p>ライフステージに応じた 栄養の特徴や食品の栄養 的特質, 健康や環境に配 慮した食生活について理 解しているとともに, 自 己や家族の食生活の計 画・管理に必要な技能を 身に付けている。 おいしさの構成要素や食 品の調理上の性質, 食品 衛生について理解してい るとともに, 目的に応じ た調理に必要な技能を身 に付けている。</p>	<p>食の安全や食品の調理上 の性質, 食文化の継承を 考慮した献立作 成や調理計画, 健康や環 境に配慮した食生活につ いて問題を見いだして課 題を設定し, 解決策を構 想し, 実践を評価・改善 し, 考察したことを根拠 に基づいて論理的に表現 するなどして課題を解決 する力を身に付けている</p>	<p>様々な人々と協働し, よ りよい社会の構築に向け て, 食生活と健康につい て, 課題の解決に主体的 に取り組んだり, 振り返 って改善したりして, 地 域社会に参画しようとす るとともに, 自分や家庭, 地域の生活の充実向上を 図るために実践しようと している。</p>
2 学期	10 月				
	11 月	<p>【第4章住生活】</p> <p>⑲これからの住生活</p> <p>⑳人と住まい</p> <p>㉑ライフスタイルと住 まい</p> <p>㉒安全な住まい</p> <p>㉓衛生的な住まい</p> <p>㉔これからの住生活</p>	<p>ライフステージに応じた 住生活の特徴, 防災など の安全や環境に配慮した 住居の機能について理解 しているとともに, 適切 な住居の計画・管理に必 要な技能を身に付けてい る。</p>	<p>住居の機能性や快適性, 住居と地域社会との関わ りについて問題を見いだ して課題を設定し, 解決 策を構想し, 実践を評 価・改善し, 考察したこ とを根拠に基づいて論理 的に表現するなどして課 題を解決する力を身に付 けている。</p>	<p>様々な人々と協働し, よ りよい社会の構築に向け て, 住生活と住環境につ いて, 課題の解決に主体 的に取り組んだり, 振り 返って改善したりして, 地域社会に参画しようと するとともに, 自分や家 庭, 地域の生活の充実向 上を図るために実践しよ うとしている。</p>

<p>2 学 期</p>	<p>12 月</p>	<p>【第5章子どもの保育】                  ㉕子どもの発達                  ㉖子どもの遊び                  ㉗子どもの生活・大人の役割                  ㉘子育て環境、子育て支援</p>	<p>乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。</p>	<p>子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>
<p>3 学 期</p>	<p>1 月</p>	<p>【第6章高齢期の生活】                  ㉙高齢期を理解する                  ㉚高齢者の生活を支える仕組み                  ㉛地域で支える高齢社会                  【第7章共生社会】                  ㉜ともに生き、支えあう社会</p>	<p>高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p>	<p>高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>
	<p>2 月</p>	<p>【第8章生活設計】                  ㉝青年期を生きる                  ㉞現代の家族                  ㉟家庭の成り立ち                  ㊱家族と法律</p>	<p>生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。</p>	<p>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>

3 学 期	3 月	○生活設計	人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方がることを理解しているとともに、自立した生活を営むために、必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
-------------	--------	-------	--	--	---

### 5. 教科担当者より

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育てていきます。

みなさんが将来自立した生活をするために必要な基礎的・基本的な知識や技術を学習します。学んだことを確実に身に付けていくためには実生活で生かしていくことが大切です。常に問題意識をもち、習得した技術や知識を今後の生活に生かしていくことができるよう心がけましょう。